

# 第57期 決算データ分析資料

## 令和元年(2019)12月期 第2四半期

令和元年5月  
プラネット東関東 マテハン機器稼働

SAS(システムストリーマー)



GAS(ゲートアソートシステム)

▲ GAS: 該当するコンテナの蓋が開き、  
商品を入れる仕分け設備。

◀ SAS: 商品の荷合わせを行う、自動  
倉庫型高速荷合わせ装置。

### トラスコ中山株式会社

令和元年(2019)8月5日発表

執行役員

経営企画部長 兼 経理部長 今川 裕章

経営企画・広報IR課長 片桐 武志

経営企画・広報IR課 吉見 今日子

経営企画・広報IR課 齋藤 杏奈

〒105-0004

東京都港区新橋四丁目28番1号

トラスコ フィオリートビル10F

TEL: 03-3433-9840 FAX: 03-3433-9881

E-mail: info@trusco.co.jp

# 一 資料目次 一

## 第57期 令和元年(2019)12月期 第2四半期

### ■トラスコ中山について

P3 連結決算開始のご報告

P4 【連結】会社概要

### A■全社経営実績

P5 ①経営成績

P6 ②【親単体】令和元年(2019)12月期  
 全社月次売上高推移／1日当たり売上高

### B■販売実績

P7 ①【親単体】販売セグメント別月次推移表

P8 ②【親単体】販売セグメント別売上高・売上総利益

P9 ③【親単体】ファクトリールート ブロック別売上高・  
 構成比・業種別売上高

P10 ④【親単体】eビジネスルート売上高推移・  
 オレンジコマース連携数推移

P11 ⑤【親単体】ホームセンタールート得意先  
 上位10社取引高

P12 ⑥海外子会社の経営成績

P13 ⑦【親単体】商品分類別売上実績

P14 ⑧【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品の  
 売上実績

### C■取組み状況

P15 ①【親単体】仕入先数推移及び新規掲載商品売上高／  
 在庫アイテム数及びヒット率／販売口座数の推移

P16 ②【親単体】システム稼働状況

### D■財務等実績

P17 ①【連結】財務諸表

P18 ②販売費・一般管理費

P19 ③【連結】設備投資等の状況

P20 ④令和元年(2019)度継続中の主な設備投資

### E■今期以降の計画

P21 ①経営計画

### ■参考資料■

P22 ① 株式情報

P23 ② 業界での指数比較

P24 ③ 【連結】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

P25 ④ 【親単体】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

P26 ⑤会社データ

P27 ⑥ユーザー別販売ルート

P28 ⑦当社売上高指数・鋳工業生産指数

P29 ⑧第57期第2四半期トピックス

## 【連結決算開始のご報告】

資産の重要性が増したため、当期、第57期-令和元年(2019)12月期第1四半期より、平成22年(2010)9月に設立したトラスコナカヤマ タイランドと、平成27年(2015)1月に設立したトラスコナカヤマ インドネシアとの連結決算を開始いたしました。

当第1四半期連結会計期間より四半期連結財務諸表を作成しているため、前年同四半期の数値等との比較分析は記載しておりません。

また、連結決算に伴い、新たなセグメント(販売ルート)として「海外ルート」を追加いたします。連結子会社の業績及び海外部の諸外国向け売上高は今後「海外ルート」に含まれます。

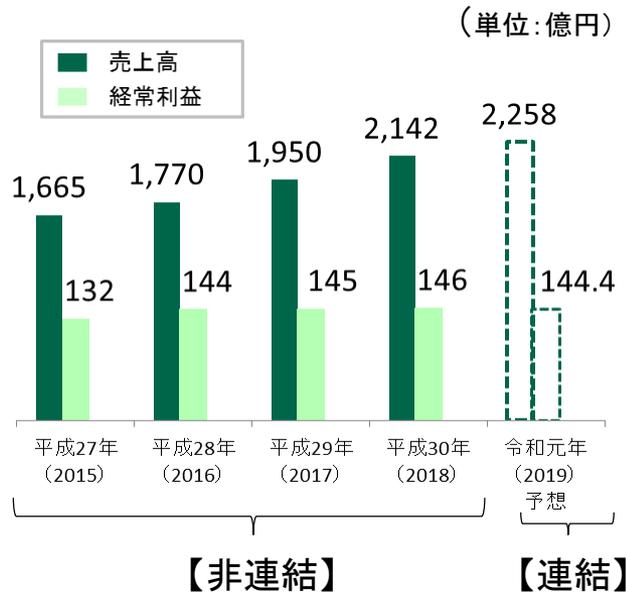
# 【連結】会社概要

令和元年(2019)6月末現在

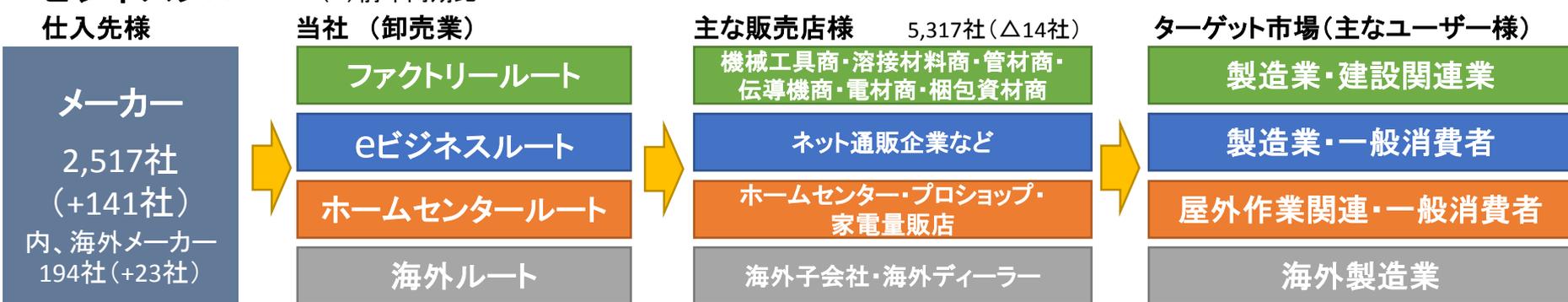


創業	昭和34年(1959)5月15日
代表者	代表取締役社長 中山 哲也
本社事務所	東京本社(東京都港区・本店登記) 大阪本社(大阪市西区)
拠点数	計100か所 国内97か所:本社2か所、支店73か所、物流センター22か所 海外3か所:現地法人:タイ、インドネシア/ 駐在所:ドイツ
資本金	50億2,237万円
証券取引所	東証一部(証券コード:9830)
従業員数	2,825名(役員12名、社員1,694名、パート1,119名)
格付状況	A(株式会社格付投資情報センター)
事業内容	機械工具、物流機器、環境安全用品をはじめとしたプロツール(工場用副資材)の卸売業及び自社ブランドTRUSCOの企画開発

## ➤売上高・経常利益の推進



## ➤ビジネスフロー



# A-① 経営成績

・単体の売上高は4.3%増加し、四半期純利益は1.1%増加しました。増収・増益ですが、計画値より下回りました。  
 ・売上高拡大に伴う運賃荷造り費の増加、物流機能強化の為の積極的な設備投資による減価償却費の増加等により、販売費及び一般管理費は前年同期比+5.6%となり、経常利益は前年同期比+0.4%となりました。

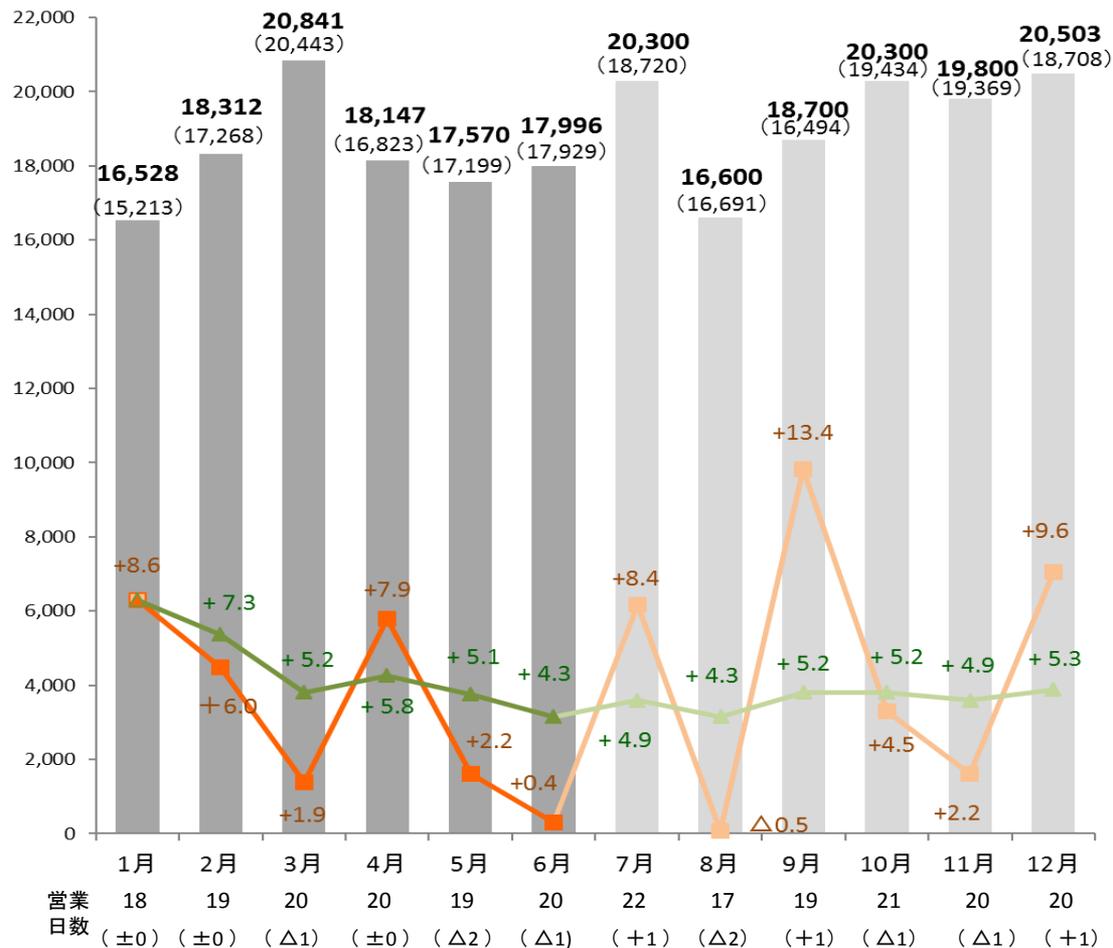
	【連結】			【親単体】						
	令和元年(2019) 12月期 第2四半期	構成比 (%)	平成30年(2018) 12月期 第2四半期	構成比 (%)	令和元年(2019) 12月期 第2四半期	構成比 (%)	前年 同期比 (%)	予算 (百万円) 構成比 (%)	予算対比	
									増減額 (百万円)	予算比 (%)
売上高	1,095億66百万円	—	1,048億77百万円	—	1,093億96百万円	—	+4.3	112,700	△3,303	△2.9
売上 総利益	237億37百万円	21.7	227億21百万円	21.7	236億22百万円	21.6	+4.0	24,339 【21.6】	△716	△2.9
販売費及び 一般管理費	167億76百万円	15.3	157億53百万円	15.0	166億37百万円	15.2	+5.6	16,890 【15.0】	△252 販管費内訳はP18	△1.5
営業利益	69億60百万円	6.4	69億68百万円	6.6	69億84百万円	6.4	+0.2	7,448 【6.6】	△464	△6.2
経常利益	71億02百万円	6.5	70億89百万円	6.8	71億21百万円	6.5	+0.4	7,583 【6.7】	△462	△6.1
四半期 純利益	48億07百万円	4.4	47億78百万円	4.6	48億31百万円	4.4	+1.1	5,157 【4.6】	△325	△6.3
PB売上高	—	—	215億83百万円	20.6	222億31百万円	20.3	+3.0	23,000 【20.4】	△768 PB商品詳細はP14	△3.3
1株当たり 四半期 純利益	72円90銭	—	72円46銭	—	73円27銭	—	+81 銭	78円 20銭	△4円 93銭	—
1株当たり 中間配当金	18円50銭	—	—	—	—	—	—	—	—	—

# A-②【親単体】令和元年(2019)12月期 全社月次売上高推移/1日当たり売上高

## ■全社合計

- 売上高(百万円)
- 前年比(%)
- 累計前年比(%)
- ( ) 前年同月売上高

予算



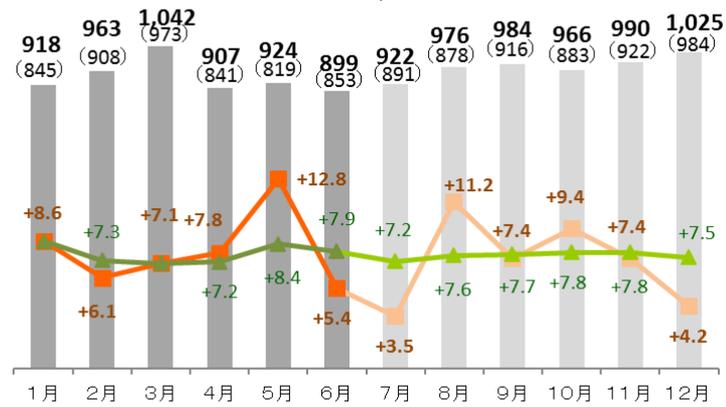
## ■全社1日当たり平均売上高推移

製造現場で使用されている消耗品は日々コンスタントに注文されるため、当社の売上高は営業日数の増減により影響を受けます。

また、企業の決算月である3月・12月は売上高が大きい繁忙期となっています。

- 営業日1日当たり平均売上高(百万円)
- 前年比(%)
- 累計前年比(%)
- ( ) 前年同日1日当たり売上高(百万円)

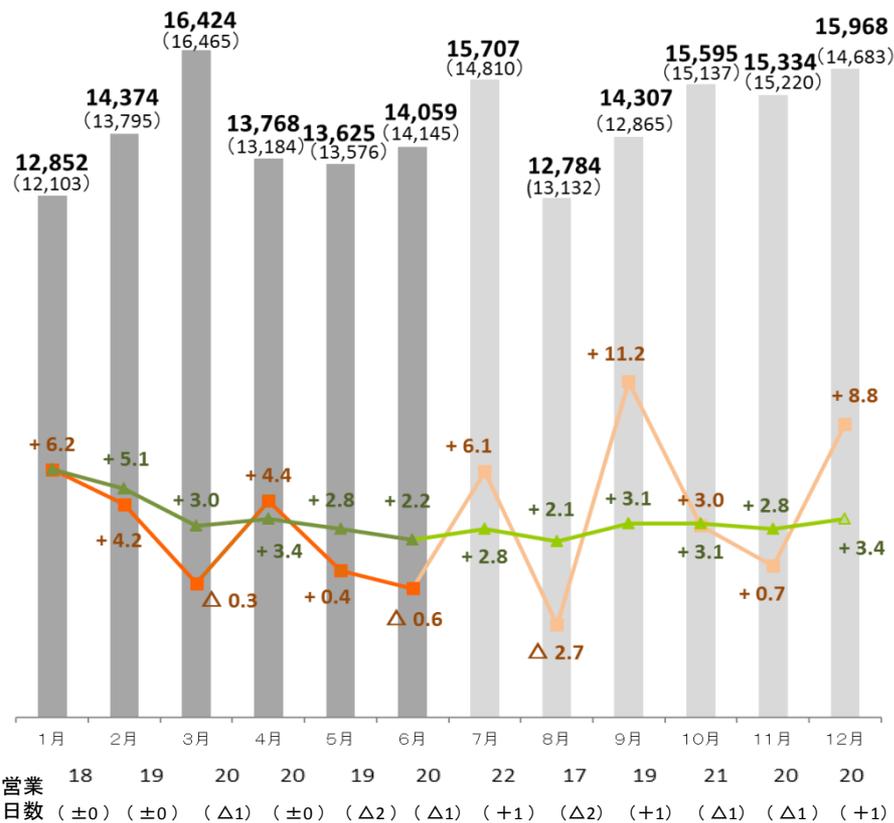
予算



# B-① 【親単体】販売セグメント別月次推移表

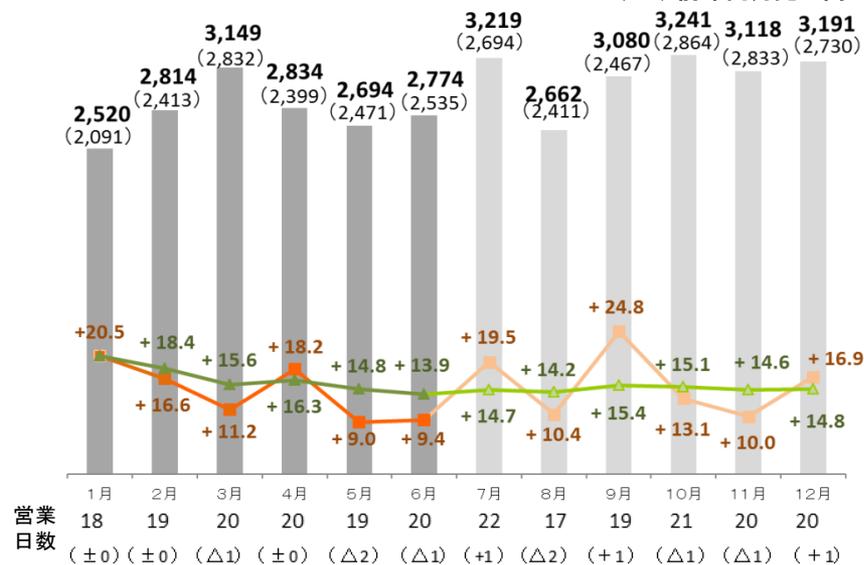
## ■ファクトリールート月次推移表

■ 売上高(百万円)  
 ■ 前年比(%)  
 ▲ 累計前年比(%)  
 ( ) 前年同月売上高



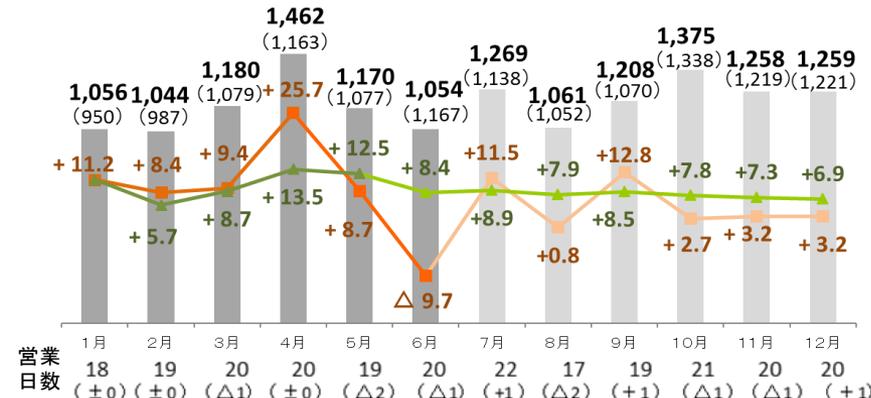
## ■eビジネスルート月次推移表

■ 売上高(百万円)  
 ■ 前年比(%)  
 ▲ 累計前年比(%)  
 ( ) 前年同月売上高



## ■ホームセンタールート月次推移表

■ 売上高(百万円)  
 ■ 前年比(%)  
 ▲ 累計前年比(%)  
 ( ) 前年同月売上高



## B-② 【親単体】販売セグメント別売上高・売上総利益

### ■販売セグメント別売上高

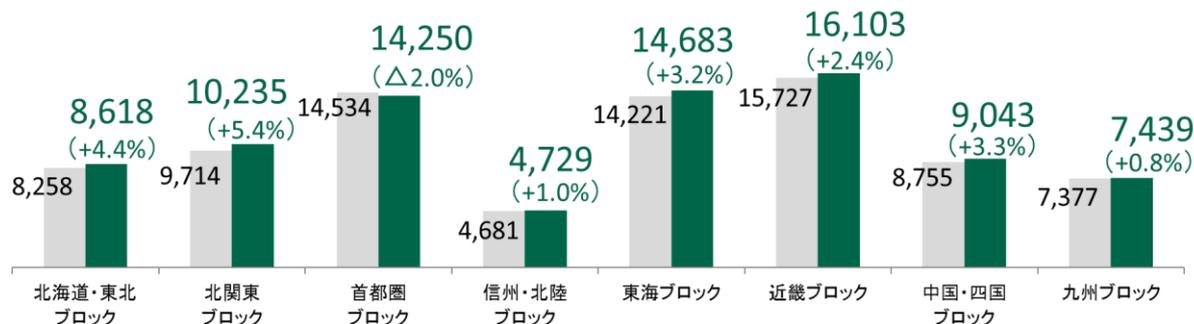
販売ルート	平成30年(2018)12月期 第2四半期		令和元年(2019)12月期 第2四半期					
	売上高	売上総利益率	売上高		売上総利益率		売上高(百万円)	
	実績	実績	実績	前年同期比	実績	前年同期比	予算	予算比
ファクトリールート	832億71百万円	21.3%	<b>851億04百万円</b>	+2.2%	21.3%	△0.1	87,926	△3.2%
eビジネスルート	147億42百万円	25.3%	<b>167億88百万円</b>	+13.9%	25.1%	△0.2	17,093	△1.8%
ホームセンター ルート	64億26百万円	17.9%	<b>69億69百万円</b>	+8.4%	17.5%	△0.4	7,090	△1.7%
その他(海外など)	4億37百万円	20.1%	<b>5億34百万円</b>	+22.1%	19.6%	△0.5	591	△9.5
全社合計	1,048億77百万円	21.7%	<b>1,093億96百万円</b>	+4.3%	21.6%	△0.1	112,700	△2.9%

# B-③ 【親単体】ファクトリールート ブロック別売上高・構成比・業種別売上高

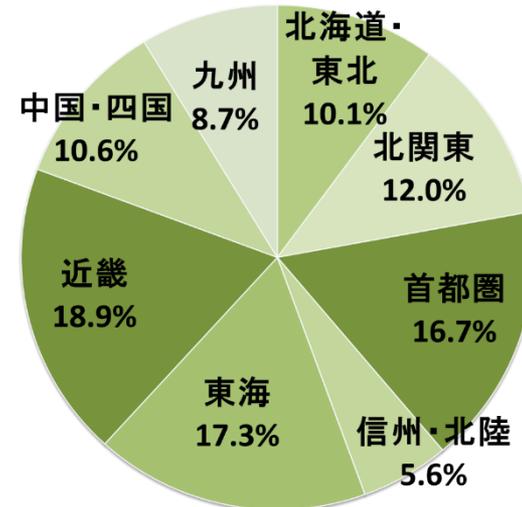
## ■ファクトリールートブロック別売上高

■ H30(2018)2Q Fルート売上高(百万円)  
 ■ R1(2019)2Q Fルート売上高(百万円)  
 ( ) 前年同期比

【熊本支店:前年同期比△7.0%】  
 設備投資案件の減少、半導体関連事業の影響など  
 【鹿児島支店:前年同期比+19.2%】  
 安全対策関連の大口受注など  
 【福井支店:前年同期比+15.8%】  
 原子力発電所の再稼働による受注増、設備投資の増加など



## ■ファクトリールートブロック別売上高構成比



## ■ファクトリールート業種別売上高

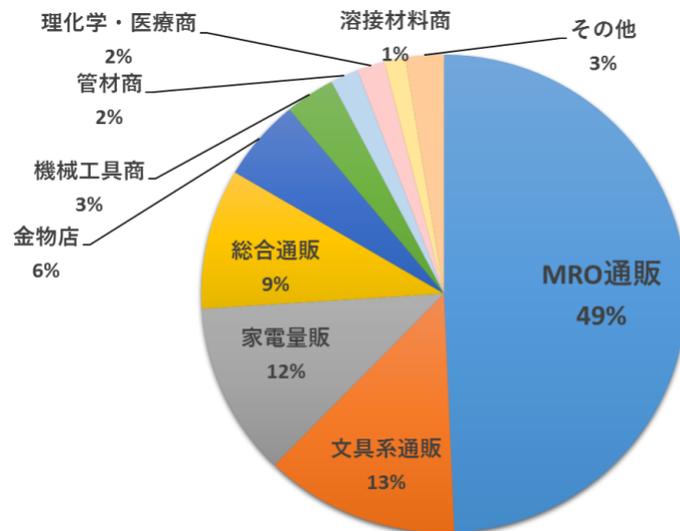
販売ルート	平成30年(2018)12月期 第2四半期		令和元年(2019)12月期 第2四半期					
	売上高 実績	売上総利益率 実績	売上高		売上総利益率		売上高(百万円)	
			実績	前年同期比	実績	前年同期比	予算	予算比
機械工具商	443億3百万円	21.2%	443億20百万円	+0.0%	21.1%	△0.1	46,623	△4.9
溶接材料商	118億75百万円	21.9%	121億38百万円	+2.2%	21.8%	△0.1	12,656	△4.1
その他製造業関連 (理化学・伝導機・梱包材商など)	132億77百万円	20.9%	135億46百万円	+2.0%	21.0%	+0.1	14,043	△3.5%
建設関連	138億15百万円	21.8%	150億98百万円	+9.3%	21.6%	△0.2	14,603	+3.4%
ファクトリールート合計	832億71百万円	21.3%	851億4百万円	+2.2%	21.3%	△0.1	87,926	△3.2%

# B-④ 【親単体】eビジネスルート売上高推移・オレンジコマース連携数推移

## Ⅰeビジネスルート売上高

販売ルート	令和元年(2019)12月期 第2四半期			
	売上高		売上総利益率	
	実績	前年同期比	実績	前年同期比
通販企業向け	127億86百万円	+14.3%	24.4%	+ 0.0
オレンジコマース 連携企業向け(電子購買)	40億02百万円	+12.5%	27.1%	△ 0.7
eビジネスルート合計	167億88百万円	+13.9%	25.1%	△ 0.2

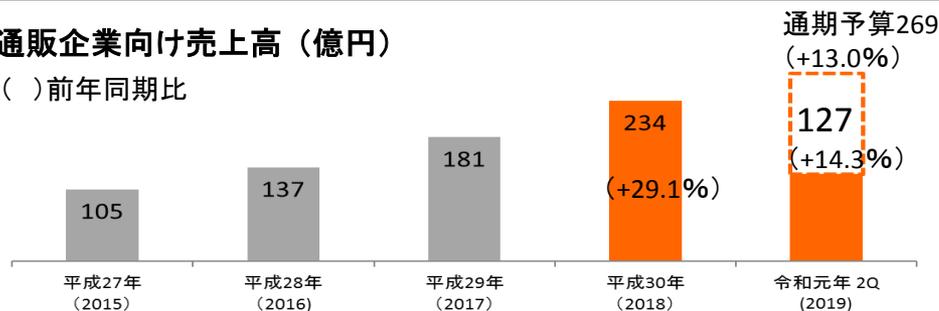
## Ⅱ通販企業向け売上高 業種別売上高比率



業種の見直しを行ったため、前年度の実績と差異がございます。

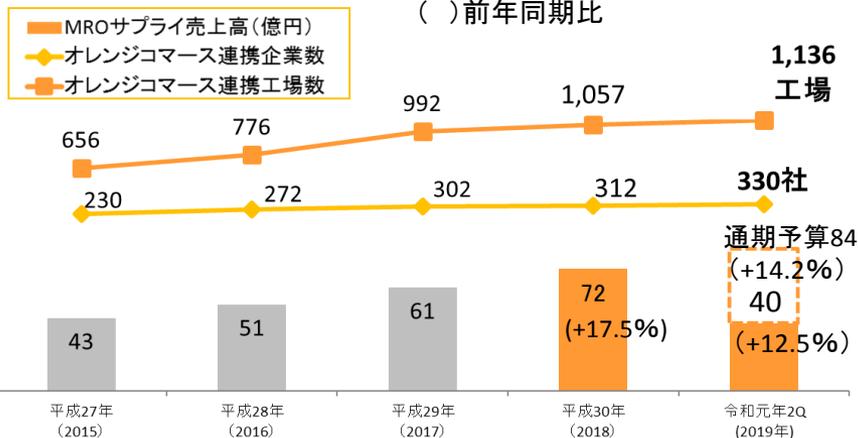
## Ⅲ通販企業向け売上高(億円)

( )前年同期比



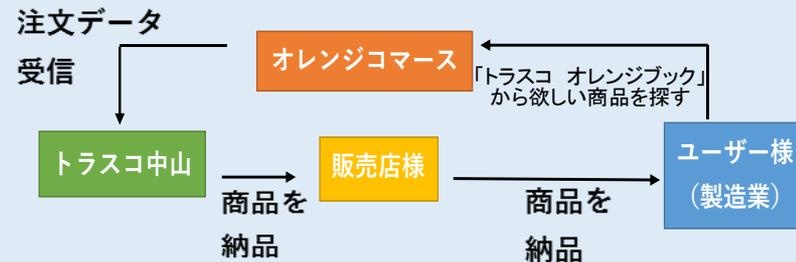
## Ⅳオレンジコマース(電子購買)連携数推移

( )前年同期比



## ※電子購買とは

ユーザー様が仕入原価の低減や業務の効率化を目的として、購買の一連の流れをインターネット(システム)を利用して管理する方式。大手ユーザー様を中心に利用されています。



ユーザー様の購買システムとトラスコ中山のシステムを連携し物流は販売店様との三者間で行います。

## B-⑤ 【親単体】ホームセンタールート得意先上位10社 取引高

プロツールの卸売業として、当社が得意とするプロツールの販売に特化し、ホームセンター各社にプロツール売場の提案を積極的に行っています。今後は、プロショップ・資材館のあるホームセンターを強化し、当社総合力をもって商品販売を行っていきます。

### ■ホームセンター得意先別売上高

単位:百万円、%

順位	得意先名	平成30年 (2018)12月期 第2四半期	令和元年 (2019)12月期 第2四半期	前年 同期比
1	DCM ホダカ(株)(プロショップ)	821	954	+ 16.2
2	(株)ナフコ	753	718	△ 4.6
3	ロイヤルHC(株)	638	622	△ 2.5
4	DCMカーマ(株)	593	608	+ 2.6
5	コーナン商事(株)	508	582	+ 14.6
6	DCMホームマック(株)	590	565	△ 4.1
7	(株)カインズ	103	488	+ 371.3
8	(株)島忠	340	400	+ 17.6
9	DCMダイキ(株)	297	285	△ 4.2
10	(株)ケーヨー	319	276	△ 13.5
10社合計		4,967	5,504	+ 10.8
HCルート売上合計		6,373	6,926	+ 8.6
10社のルート売上占有率		77.9	79.5	

平成19年(2007)より実施している  
お取引正常化について

- ①採算割れ取引の中止
- ②新規開店、周年セール等、限度を超えた特別協賛の中止
- ③当社が販売していない商品に対する人的応援のお断り

以上により、第43期 平成18年(2006)売上高 219億円が約100億円に落ち込みましたが、当社は売上が落ちてもしっかりルールに基づいた取引を行っています。

- DCM ホールディングスへの売上高  
合計:2,691 百万円(前年同期比+2.6%)  
【DCMカーマ(株)、DCMダイキ(株)、DCMホームマック(株)、DCMサンワ(株)、DCMくろがねや(株)、(株)ケーヨー、ホダカ(株)、(株)ホームマックニコット、】

各企業名の敬称を省略しております。

経営企画・広報IR課にて作成した参考値です。

## B-⑥ 海外子会社の経営成績

### ■海外子会社の第2四半期の実績

単位:百万円、%

		売上高	売上 総利益	販売費 一般管理費	営業利益	経常利益	四半期 純利益
トラスコナカヤマ タイランド 1パーツ=3.51円 (前年3.33円)	実績	376	92	67	25	25	25
	前年 同期比	+19.5	+32.5	+12.7	+151.6	+145.5	+145.5
トラスコナカヤマ インドネシア 1ルピア=0.0076円 (前年0.0077円)	実績	109	29	70	△41	△43	△43
	前年 同期比	△10.5	△3.2	+40.2	-	-	-

### 【トピックス】平成31年(2019)3月9日

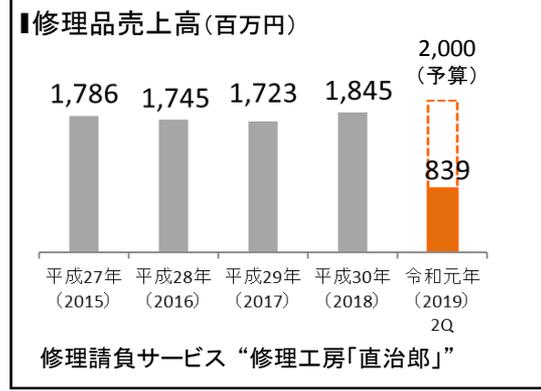
#### トラスコナカヤマ インドネシア新拠点 竣工



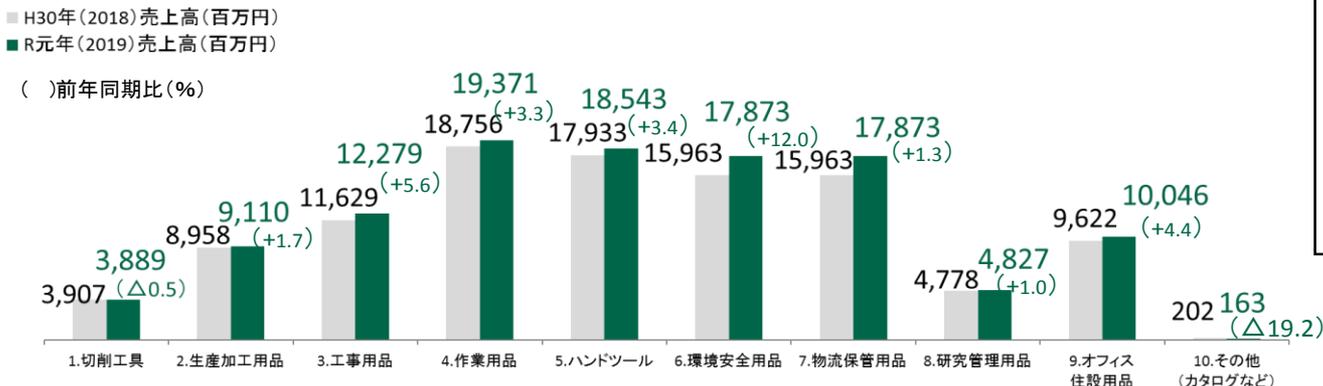
住所 : 西ジャワ州ブカシ県チカラン工業団地  
ジャヤムクティ区ケナリラヤ通り36番 ZIPコード17815

敷地面積 : 16,177㎡(4,894坪)  
延床面積 : 11,230㎡(3,155坪)  
設備投資額 : 土地10億円/建物6.2億円  
設計/施工 : 株式会社竹中工務店  
従業員 : 17名(内トラスコ中山株式会社出向社員3名)  
在庫アイテム数 : 54,888アイテム(2019年6月末時点)

# B-⑦ 【親単体】商品分類別 売上実績



## ■大分類別売上高グラフと中分類内訳



### ■構成比

商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率	商品分類(大分類)	中分類	全社売上高	構成比	前年同期比	粗利率
1. 切削工具	3.6	1,861	1.7	△2.8	10.4	6. 環境安全用品	16.3	8,926	8.2	+10.9	25.3
	3.6	2,027	1.9	+1.8	22.9		保護具	8,926	8.2	+10.9	25.3
2. 生産加工用品	8.3	4,580	4.2	+3.0	16.6	安全用品	4,496	4.1	+6.1	26.4	
	8.3	1,833	1.7	+3.6	15.7	環境改善用品	968	0.9	+5.0	20.0	
	8.3	1,303	1.2	+3.6	21.7	冷暖房用品	2,055	1.9	+43.9	16.5	
	8.3	1,392	1.3	△6.2	10.5	防災・防犯用品	463	0.4	+8.1	21.3	
3. 工事用品	11.2	1,008	0.9	+4.9	11.8	物置・エクステリア用品	962	0.9	+7.2	15.8	
	11.2	1,649	1.5	△1.9	15.9	7. 物流保管用品	12.1	3,665	3.4	+8.3	17.7
	11.2	991	0.9	△1.5	19.0	荷役用品	641	0.6	△4.5	16.4	
	11.2	1,082	1.0	+3.0	25.2	コンベヤ	5,199	4.8	+0.1	22.1	
	11.2	986	0.9	+20.5	13.4	運搬用品	1,883	1.7	△0.6	30.8	
	11.2	1,630	1.5	+7.3	22.7	コンテナ・容器	1,900	1.7	△3.9	27.4	
	11.2	1,691	1.5	+6.9	23.5	スチール棚	558	0.5	△4.4	29.8	
	11.2	3,238	3.0	+7.6	28.3	8. 研究管理用品	4.4	715	0.7	+0.9	32.1
4. 作業用品	17.7	679	0.6	+7.2	22.8	作業台	769	0.7	△2.5	27.9	
	17.7	3,601	3.3	+3.1	23.7	ステンレス用品	970	0.9	+1.2	18.7	
	17.7	9,383	8.6	+4.6	22.6	研究開発関連用品	1,813	1.7	+4.4	17.9	
	17.7	1,710	1.6	△0.8	15.9	9. オフィス住設用品	9.2	2,916	2.7	+3.2	21.8
	17.7	2,563	2.3	+3.6	31.0	清掃用品	942	0.9	+13.4	19.1	
	17.7	1,432	1.3	△2.1	18.4	文具用品	1,268	1.2	+11.8	28.3	
5. ハンドツール	17.0	4,941	4.5	+2.1	14.6	電化製品	1,768	1.6	+0.4	23.8	
	17.0	3,353	3.1	+2.7	18.1	OA事務用機器	843	0.8	+7.3	27.3	
	17.0	9,315	8.5	+4.0	21.4	事務用家具	2,164	2.0	+1.1	24.6	
	17.0	933	0.9	+7.0	30.1	インテリア用品	141	0.1	+1.3	20.7	
合計		109,396	100.0	+4.3	21.6	10. その他	0.1	163	0.1	△19.2	-

(単位:百万円、%)

・6.環境安全用品の中の冷暖房用品においては、昨年夏物商材の売上の伸びが高かったことを受け、今期は戦略的に昨年の倍以上の在庫を保有いたしました。今期も夏物商材の需要が高かったことから売上高が伸び、前年比+43.9%と好調に推移しました。

# B-⑧ 【親単体】プライベート・ブランド(PB)商品の売上実績

## ■PB分類別売上高の主な内訳

※その他ルートは除く

単位：百万円

	全体		ファクトリー		eビジネス		ホームセンター	
	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率	構成比	粗利率
	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比	売上高	前年同期比
合計	22,231	+3.0%	17,242	+0.9%	4,369	+12.2%	462	+4.9%
切削工具	355	+3.5%	265	+3.6%	52	+2.1%	33	+8.8%
生産加工用品	804	+5.5%	614	+2.8%	168	+18.1%	9	△7.4%
工事用品	1,787	+2.3%	1,367	+0.7%	382	+11.9%	28	△6.4%
作業用品	3,774	+1.4%	3,095	+0.1%	619	+8.6%	36	+2.0%
ハンドツール	2,312	+0.6%	1,738	△1.5%	480	+10.9%	65	△5.3%
環境安全用品	3,677	+12.2%	2,926	+10.4%	686	+19.8%	52	+19.4%
物流保管用品	5,500	+0.7%	4,154	△1.8%	1,091	+10.0%	215	+1.9%
研究管理用品	1,876	△0.2%	1,504	△2.2%	350	+8.1%	1	-
オフィス住設用品	2,140	+2.7%	1,575	△1.5%	538	+15.7%	16	+261.4%
その他	1	△7.0%	0	-	0	-	1	-

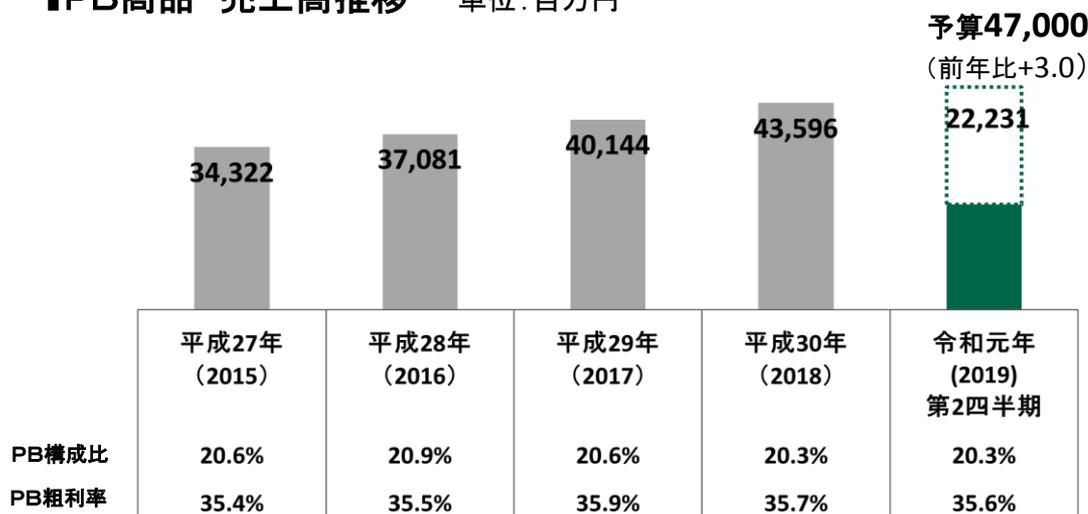
## ■プライベート・ブランド(PB)商品



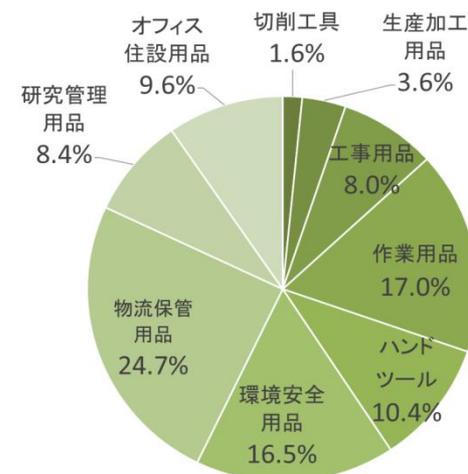
年間約5,000アイテムの新規商品を投入している自社企画開発商品。ナショナル・ブランド商品に比べ利益率が高く、売上高構成比は20.3%を占めています。



## ■PB商品 売上高推移 単位：百万円



## ■PB売上構成比

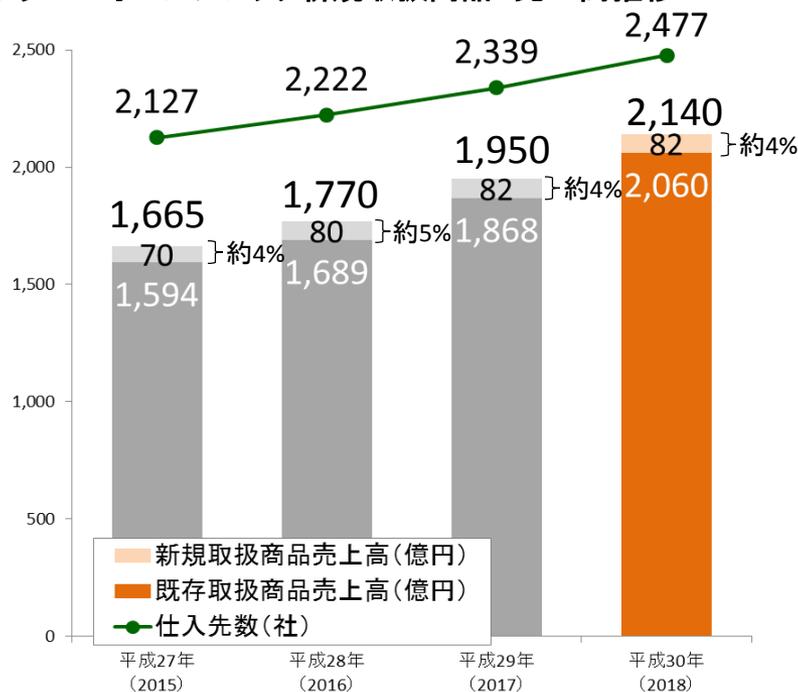


# C-① 【親単体】仕入先数推移及び新規掲載商品売上高／在庫アイテム数及びヒット率

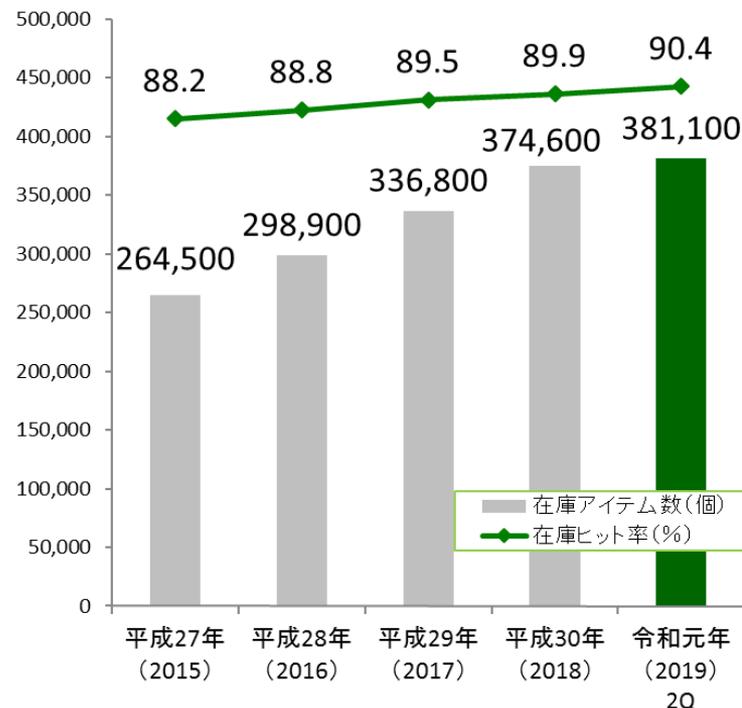
## ／販売口座数の推移

### 1、仕入先数の推移及び全社売上高における

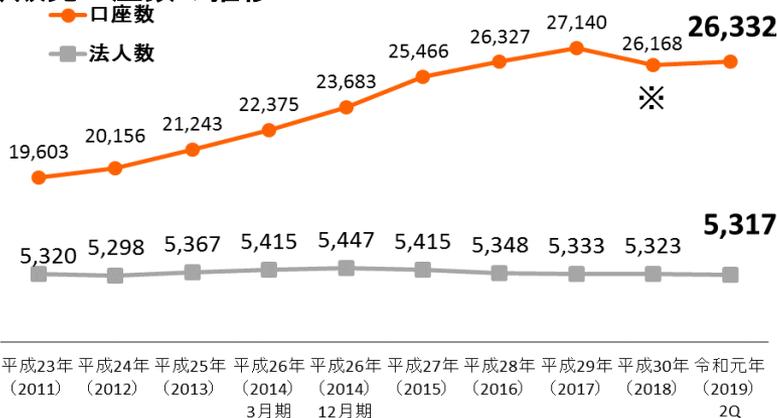
#### トラスコ オレンジブック新規取扱商品 売上高推移



### 2、在庫アイテム数及び在庫ヒット率の推移



### 3、販売口座数の推移



1、売上高のうち4%程度は、その年に商品カタログ「トラスコ オレンジブック」へ新規掲載された商品の売上高で構成されています。

2、在庫ヒット率＝在庫から出荷した商品の行数÷全注文行数  
当初の目標であった90%を達成しました。

3、取引法人数は減少傾向にあります。売上増加のポイントである口座数は順調に増え続けています。抹消法人数は年間100社程度です。

※平成30年(2018)の口座数減少は、ホームセンタールート取引先の取引終了による口座抹消が主な要因です。

平成23年(2011) 平成24年(2012) 平成25年(2013) 平成26年(2014) 3月期 平成26年(2014) 12月期 平成27年(2015) 平成28年(2016) 平成29年(2017) 平成30年(2018) 令和元年(2019) 2Q

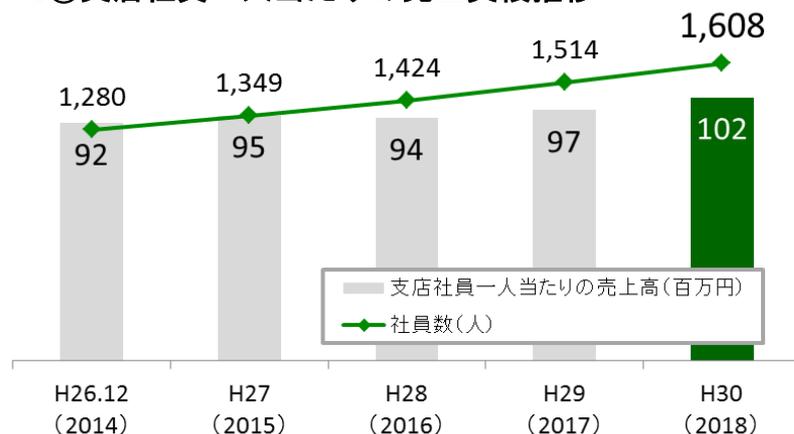
# C-② 【親単体】システム稼働状況

## ■①システム受注(FAX-OCR含む)実績

【ご参考】 令和元年(2019)6月末累計 照会行数:ドットクル約197件/日、WEBアクセス数約61,614件/日

受注実績	受注行数 (行)	行数占有率	占有率 前年同期比	受注金額 (百万円)	金額占有率	占有率 前年同期比
トラスコ オレンジブック.Com (販売店様、ユーザー様用)インターネット受発注	7,163,532	42.6%	+0.5	45,345	41.3%	+1.1
トラスコEDI 販売店様発注システムとのデータ連携	2,734,088	16.3%	+9.8	11,230	10.3%	+13.0
DOTKUL (ドットクル) FAX-OCR	189,362	1.1%	△20.4	900	0.8%	△18.3
オレンジコマース ユーザー様購買システムとの連携	316,715	1.9%	+35.9	1,950	1.8%	+44.9
EOS ホームセンター電子発注システム	3,420,911	20.4%	+9.7	6,413	5.9%	+13.0
計	13,824,608	82.2%	+4.7	65,841	60.2%	+4.7

## ■②支店社員一人当たりの売上実績推移



※実績数値は、販管費(物流・本社部署人件費など)を加味した、支店社員一人当たりの売上高

### システム受注化に伴う、業務効率の改善

- ① 全社システム受注率82.2%  
全ルートを受注行数のうち80%以上のご注文がシステムからの自動受注による売上高。
- ② 支店社員一人あたりの売上高約102百万円

# D-① 【連結】財務諸表

…当期より連結決算開始の為、前年との数値等の比較は記載しておりません。

## ■セグメント情報等

単位:百万円、%

		令和元年(2019)12月期 第2四半期		
			売上高	経常利益又は 損失(△)
報告 セグメント	ファクトリー ルート	実績	85,111	5,645
		前年同期比	-	-
	eビジネス ルート	実績	16,788	1,479
		前年同期比	-	-
	ホームセンター ルート	実績	6,969	△36
		前年同期比	-	-
	海外ルート	実績	697	△94
		前年同期比	-	-
	計	実績	109,566	6,994
		前年同期比	-	-
調整額			-	107
財務諸表計上額		実績	109,566	7,102
		前年同期比	-	-

- 1、経常利益の調整額107百万円は、各報告セグメントに  
 帰属しない利益が含まれています。  
 調整額には賃貸物件の賃貸収入等が含まれます。

## ■貸借対照表

令和元年(2019)6月30日現在  
 単位:百万円、%

資産	負債・資本
流動資産 75,120	流動負債 23,632
	固定負債 27,243
固定資産 99,406	純資産 123,650
内、有形固定資産 89,063	
<b>総資産 174,526</b>	

## ■キャッシュ・フロー計算書

単位:百万円

	令和元年(2019)12月期 第2四半期
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,003
投資活動によるキャッシュ・フロー	△12,181
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,220
現金及び現金同等物に係る換算差額	2
現金及び現金同等物の増減額	△7,395
現金及び現金同等物の期首残高	12,448
現金及び現金同等物の期末残高	5,053

## D-② 販売費・一般管理費

### ■販売費及び一般管理費の主な内訳

単位：百万円、%

	【連結】	【親単体】			
	令和元年(2019) 12月期 第2四半期	平成30年(2018) 12月期 第2四半期	令和元年(2019) 12月期 第2四半期	増減額	前年同期比
1 運賃及び荷造費	3,046	2,678	3,042	364	+13.6
2 広告宣伝費	423	408	423	14	+3.6
3 販売促進費	266	227	265	37	+16.6
4 車両費	121	117	117	0	△ 0.6
5 役員報酬	214	187	214	26	+14.3
6 給与及び賞与	5,931	5,848	5,885	37	+0.6
7 賞与引当金繰入額	295	502	295	△ 207	△ 41.2
8 福利厚生費	1,163	1,099	1,151	52	+4.8
9 交際費	72	67	71	3	+5.9
10 旅費及び交通費	305	297	303	5	+1.9
11 通信費	180	168	179	11	+6.6
12 支払手数料	926	778	913	134	+17.3
13 消耗品費	259	464	257	△ 206	△ 44.5
14 水道光熱費	176	139	175	35	+25.4
15 租税公課	568	667	566	△ 101	△ 15.1
16 減価償却費	2,300	1,550	2,266	716	+46.2
17 借地借家料	336	324	327	3	+1.2
18 その他	186	224	180	△ 44	△ 19.8
計	16,776	15,753	16,637	884	+5.6

### －【個別】主な項目について－

( )前年同期比

- ・売上拡大等により路線便の出荷個数が+12.7%増加(約+198百万円)
- ・路線便の運賃値上等による影響(約+165百万円)
- ・備車(契約配達便)減便(△35百万円)  
台数 236台(△30台)※社内間輸送便41台含む  
【参考】自社社員配達便 92台(+12台)

- ・カタログ「2020年度版トラスコ オレンジブック」のサイズ変更[B5⇒A4]に伴う費用  
レイアウト変更作業費用(+70百万円)  
データ製作費用(+73百万円)
- ・「トラスコ オレンジブック」社内使用分費用の増加(+24百万円)
- ・前期のトラスコ デジタルオレンジブック英語版製作費(△112百万円)

- ・社員+30名(主な内訳：キャリア社員+30名、ロジス社員+9名、エリア社員△12名)
- ・パートタイマー+10名
- ・達成報奨金の当期支給が無い影響(△116百万円)

- ・業績連動型賞与を支給前提で積み立てていたが、支給が無くなり前期12月に取り崩した影響。通期では影響はありません。

- ・社内PC関連費用[49百万円]
- ・システム関連保守点検費(+95百万円)
- ・物流設備関連保守点検費(+14百万円)

- ・前期は物流センター「プラネット埼玉」の備品費用が発生していた影響(△169百万円)

- ・物流センター「プラネット埼玉」建物見積不動産取得税(△186百万円)

- ・物流センター「プラネット埼玉」建物、電気照明設備、物流機器など[298百万円]／「プラネット東海」物流機器[98百万円]
- ・商品検索サイト「トラスコ オレンジブック.Com」リプレース[212百万円]

# D-③ 【連結】設備投資等の状況

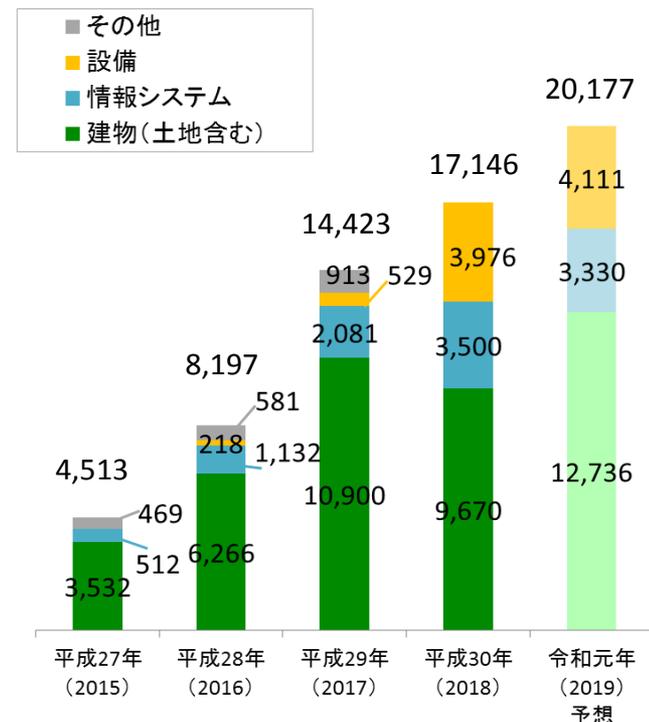
## ■主な設備投資の 実績と予定

単位:百万円

主な設備投資 内訳		総投資 予定額	前期までの 支払済費用	令和元年(2019)12月期	
				上期 投資実績額	下期 投資予定額
建物	プラネット南関東 建替	8,784	2,957	2,442	2,442
	プラネット東北 増築	4,000	887	1,554	1,559
	豊橋ストックセンター 建替	2,990	-	-	600
	プラネット北関東 増築	1,178	384	322	472
	<b>主な建物合計</b>	<b>16,952</b>		<b>4,318</b>	<b>5,073</b>
設備	プラネット埼玉 バトラー/オートストア	1,069	369	62	638
	プラネット東北 バケツ自動倉庫 / SAS / GAS / オートストア / I-Pack / BOD / バトラー / パレットラック 等	3,023	-	293	203
	プラネット南関東 バケツ自動倉庫 / SAS / オートストア / ケースCV / 電動パレットラック 等	2,341	-	499	140
	プラネット東海 バケツ自動倉庫 / SAS / GAS	1,249	562	687	-
	プラネット東関東 SAS / GAS / コンベア	891	492	399	-
	プラネット神戸 バケツ自動倉庫 / SAS / GAS / 電動パレットラック 等	864	45	337	482
	プラネット北関東 パレット自動倉庫	190	60	60	70
	プラネット滋賀 バケツ自動倉庫 / 電動パレットラック	263	22	17	224
	<b>主な設備合計</b>	<b>9,890</b>		<b>2,354</b>	<b>1,757</b>
	システム	パラダイス(受発注システム) リプレイス	3,299	841	848
SORA、Self、Zaicon2 リプレイス		962	72	590	-
トロロジス、フェニックス(物流管理システム) リプレイス		375	126	249	-
AIオレンジレスキュー (商品検索システム) 開発費用・社外公開対応費用		248	157	48	43
プラネット埼玉 オートストア・バトラー関連システム 導入		131	-	48	83
<b>主なシステム合計</b>		<b>5,015</b>		<b>1,783</b>	<b>936</b>
土地	西日本物流センター(大和郡山) 土地	3,023	-	302	-
	プラネット愛知(北名古屋) 土地	1,818	180	230	-
	プラネット東関東 隣地	654	-	-	654
<b>主な土地合計</b>	<b>5,495</b>		<b>532</b>	<b>654</b>	
海外	トラスコ ナカヤマ インドネシア 新社屋建物	618	-	618	-
その他		-	-	1,803	349
<b>小計</b>				<b>11,408</b>	<b>8,769</b>
<b>年間設備投資金額</b>				<b>20,177</b>	

## ■設備投資額の推移

単位百万円



平成30年(2018)より「その他」に含めていた項目を  
設備・情報システム・建物に振り分けています。

### 設備投資額に関して

- ・設備投資予定額には、計画中的のものも含まれている  
為、投資金額は期中に変動する場合がございます。
- ・インドネシアルピアの為替レートは6月末時点の  
0.0076円/IDRにて換算しています。

令和元年(2019)12月期の減価償却費  
は4,779百万円(前年比+1,169百万円)  
を予定しています。

## D-④ 2019年度継続中の主な設備投資

### プラネット北関東 竣工

2019年7月稼働



増築部分

#### 概要

- 住所: 群馬県伊勢崎市
- 増築後社屋全体:  
敷地面積10,000坪  
延床面積7,695.5坪  
増築棟 6階建
- 投資予定総額: 19億円  
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備: パレット自動倉庫

### プラネット東北 増築

完成予定: 2020年5月



増築部分

完成予想図

#### 概要

- 住所: 宮城県仙台市
- 増築後社屋全体:  
敷地面積3,905坪  
延床面積8,587坪  
増築棟 6階建
- 投資予定総額: 70億円  
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備:  
バケット自動倉庫/オートストア/  
バトラー/SAS/GAS/電動パレット  
トラック/I-Pack

### プラネット南関東 建替え

完成予定: 2020年8月



完成予想図

#### 概要

- 住所: 神奈川県伊勢原市
- 敷地面積: 3,662坪
- 延床面積: 7,885.3坪
- 構造: 地下1階(駐車場)、  
地上4階建、免震構造
- 投資予定総額: 111億円  
(建物・設備)
- 在庫予定アイテム数: 50万アイテム
- 導入予定設備:  
バケット自動倉庫/オートストア/  
SAS/GAS/電動パレットラック

# E-① 経営計画

令和元年(2019)8月1日に業績予想の修正を発表いたしました。

	第56期 平成30年(2018)12月期			第57期 令和元年(2019)12月期				
	【個別】			【連結】		【親単体】		
	実績(個別) (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	予算 (百万円)	構成比 (%)	前期比 (%)
売上高	214,297	100.0	109.8	225,894	100.0	225,600	100.0	105.3
ファクトリールート	169,122	78.9	107.4	-	-	174,800	77.5	103.4
eビジネスルート	30,745	14.3	126.1	-	-	35,300	15.6	114.8
ホームセンタールート	13,466	6.3	108.6	-	-	14,400	6.4	106.9
その他(海外)	963	0.5	105.3	-	-	1,100	0.5	114.2
1日当たり売上高	892	-	110.8	-	-	960	-	107.5
実働稼働日数	240日	-	△2日	-	-	235日	-	△5日
売上総利益	45,491	21.2	109.9	48,172	21.3	47,950	21.3	105.4
ファクトリールート	35,152	20.8	107.0	-	-	36,360	20.8	103.4
eビジネスルート	7,738	25.2	125.3	-	-	8,830	25.0	114.1
ホームセンタールート	2,406	17.9	110.6	-	-	2,540	17.6	105.6
その他(海外)	194	20.2	109.2	-	-	220	20.0	113.4
販売費及び一般管理費	31,127	14.5	114.8	33,993	15.0	33,700	14.9	108.3
営業利益	14,364	6.7	100.6	14,178	6.3	14,250	6.3	99.2
経常利益	14,642	6.8	100.4	14,428	6.4	14,500	6.4	99.0
当期純利益	9,722	4.5	95.6	9,703	4.3	9,750	4.3	100.3
1株当たり当期純利益	147円44銭	-	△6円84銭	147円14銭	-	147円85銭	-	+41銭
1株当たり配当金	37円	-	△2円	37円	-	-	-	-
プライベート・ブランド商品売上高	43,596	20.3	108.6	-	-	45,400	20.1	104.1
ファクトリールート	34,191	20.2	104.8	-	-	35,160	20.1	102.8
eビジネスルート	8,147	26.5	127.7	-	-	8,830	25.0	108.4
ホームセンタールート	928	6.9	105.4	-	-	1,080	7.5	116.4
その他(海外)	328	34.1	122.8	-	-	330	30.0	100.6
PB商品粗利率	35.7	-	-	-	-	35.9	-	-
PB商品数	56,500	-	112.5	-	-	58,700	-	103.9
商品在庫金額	37,000	-	116.2	-	-	43,100	-	116.5
社員数	1,608	-	105.9	-	-	1,720	-	107.0
パートタイマー人数	1,111	-	105.9	-	-	1,125	-	101.3
減価償却費	3,610	-	130.2	-	-	4,779	-	132.4

## ◆一第58期一令和2年(2020)の見込みについて

令和元年(2019)5月13日に発表した経営計画では、令和2年(2020)の見込みも掲載しておりますが、弊社の物流能力・在庫能力を強化してきたことによる競争優位性は変わらないものの、景況感の減速により今後の業績の読みづらい状況が続いていることから、期末に改めて開示させていただきます。

## ◆予算のたて方について

「全国の支店長が策定した支店年間予算」の合計を全社予算として採用しています。マーケットを熟知した支店長が、人員配置を含めた戦略を練り実行し、自身が最終責任をとるという意味で予算策定をしています。今後も支店長予算の集計が予算となるため、每期計画の見直しが入ります。

この中期経営計画は本資料作成時点での弊社の判断であり、その情報の正確性を保証するものではありません。様々な要因の変化により、実際の業績や結果とは異なる可能性があります。

# 参考資料①—【親単体】株式情報

## ■株式の情報

単位:名

	平成28年 (2016) 12月末	平成29年 (2017) 6月末	平成29年 (2017) 12月末	平成30年 (2018) 6月末	平成30年 (2018) 12月末	令和元年 (2019) 6月末
株主合計	18,462	14,497	25,365	16,719	29,997	19,776
単元株主	17,744	13,821	24,758	16,038	29,409	17,249
単元未満株主	718	676	607	681	588	691
金融機関・証券会社	65	73	71	66	63	73
国内法人	602	552	628	566	657	563
外国法人等	196	174	198	203	228	210
個人その他	17,599	13,698	24,468	15,884	29,049	18,930

## ■株式分割について

平成29年(2017)1月1日を効力発生日として、当社普通株式1株につき、2株の割合をもって株式分割を実施しました。

## ■ROE推移

単位:%

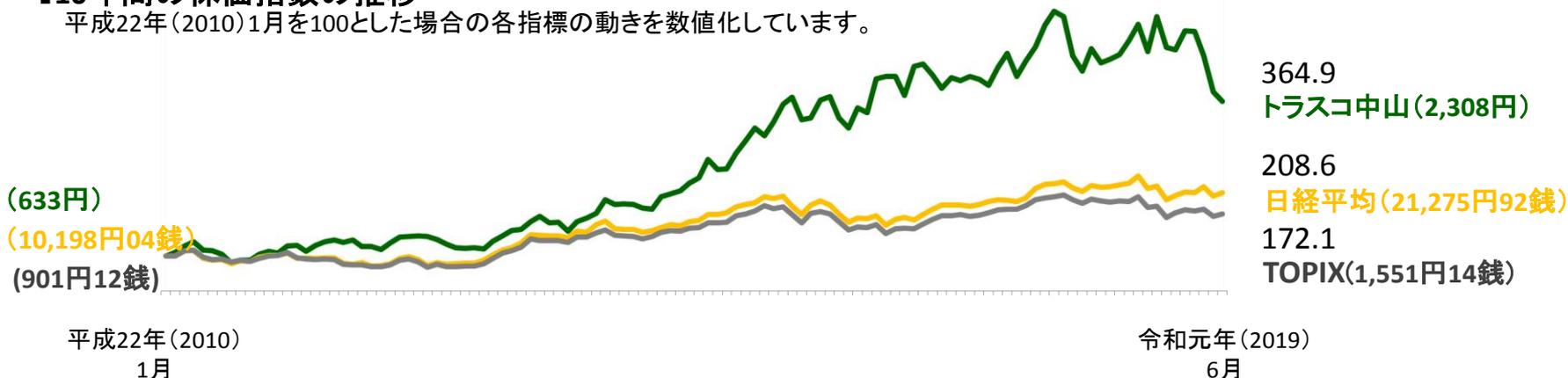
	平成27年 (2015)	平成28年 (2016)	平成29年 (2017)	平成30年 (2018)	令和元年 (2019) 予想
ROE	8.7	9.8	9.3	8.3	7.8

### <ROEに対する考え方>

当社では、企業価値向上のための継続的な投資をすることで利益を拡大し、長期的かつ安定的に上昇させることが重要だと考えています。お客様の利便性向上を大切にし、事業の結果としてROEが高まるというのが本来の姿であると考えています。

## ■10年間の株価指数の推移

平成22年(2010)1月を100とした場合の各指標の動きを数値化しています。



# 参考資料②－業界での指数比較

## ■同業界の商社、直販企業(上場企業)の業績

機械工具業界の他商社には、下記の企業がありますが、卸売業・小売業で事業展開が異なり、また同じ卸売業においても、それぞれ主力商品が異なります。

単位:百万円、%、敬称略

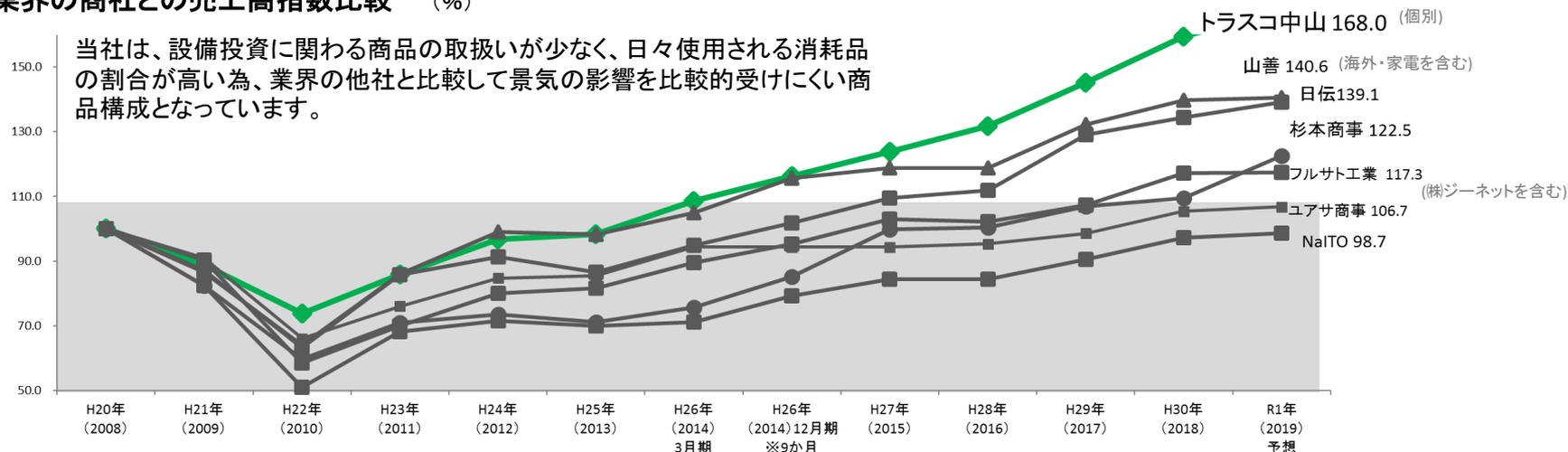
卸売	令和2年(2020年) -予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)山善	3月	530,000	+ 0.7
ユアサ商事(株)	3月	500,000	+ 1.3
(株)日伝	3月	129,000	+ 3.5
フルサト工業(株)	3月	108,000	+ 0.1
(株)NaITO	2月	50,800	+ 1.6
杉本商事(株)	3月	50,800	+ 11.9
トラスコ中山(株) ※	12月	225,894	+ 5.4

単位:百万円、%、敬称略

直販	令和2年(2020年) -予想-		
	決算月	売上高	前年比
(株)ミスミグループ	3月	355,000	+ 6.9
(株)MonotaRO ※	12月	136,258	+ 24.4

※連結決算を発表している会社は連結決算の数値を記載しています。  
 ※各数値は令和元年(2019)8月2日時点で公表されている実績及び予想を記載しています。  
 ※令和2年(2020)の予想になりますが、株式会社MonotaRO様と当社は12月決算となります。

## ■同業界の商社との売上高指数比較 (%)



※指数基準:平成20年(2008)を100とする。平成20年3月期は当社売上高1,344億円とリーマンショック前の過去最高額を記録した年です。  
 ※令和元年(2019)8月2日現在公開のデータをもとに経営企画・広報IR課にて算出した数値。  
 ※平成26年12月期のトラスコ中山は、決算期変更により9か月の変則決算であったため、平成26年12月期実績に平成25年12月期1~3月予算を足した金額、1,563億円をもとに計算した参考値です。

# 参考資料③－【連結】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

## ■令和元年(2019)12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期 (△1日)				第2四半期 (△4日)				第3四半期 (△4日)				通 期 (△5日)			
	実績				実績				予算				予算			
	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計	本社	タイ	インドネシア	計
売上高	55,682	194	60	<b>55,781</b>	109,396	376	109	<b>109,566</b>	164,996	526	225	<b>165,189</b>	225,600	700	309	<b>225,894</b>
売上総利益	11,931	48	16	<b>11,996</b>	23,622	92	29	<b>23,737</b>	35,288	124	59	<b>35,455</b>	47,950	165	80	<b>48,172</b>
販売費及び一般管理費	8,308	34	28	<b>8,381</b>	16,637	67	70	<b>16,776</b>	24,993	112	108	<b>25,213</b>	33,700	150	144	<b>33,993</b>
営業利益	3,622	14	△12	<b>3,614</b>	6,984	25	△41	<b>6,960</b>	10,294	12	△49	<b>10,241</b>	14,250	14	△63	<b>14,178</b>
経常利益	3,677	14	△13	<b>3,672</b>	7,121	25	△43	<b>7,102</b>	10,498	12	△49	<b>10,445</b>	14,500	14	△63	<b>14,428</b>
当期純利益	2,515	14	△13	<b>2,505</b>	4,831	25	△43	<b>4,807</b>	7,085	8	△49	<b>7,048</b>	9,750	10	△63	<b>9,703</b>

実績・予算の合計は連結調整仕分け(親子会社間の内部取引の消去等)を考慮した金額

# 参考資料④－【親単体】令和元年(2019)12月期 四半期毎の実績・予算

## ■令和元年(2019)12月期【四半期】

単位:百万円、%

	第1四半期(△1日)			第2四半期(△3日)			第3四半期(±0日)			第4四半期(△1日)			
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	
売上高	55,682	100.0	+5.2	53,713	100.0	+3.4	55,600	100.0	+7.1	60,603	100.0	+5.4	
売上総利益	11,931	21.4	+5.4	11,690	21.8	+2.6	11,666	21.0	+10.5	12,661	20.9	+3.6	
販売費及び一般管理費	8,308	14.9	+11.2	8,328	15.5	+0.6	8,356	15.0	+7.7	8,706	14.4	+14.4	
営業利益	3,622	6.5	△6.0	3,362	6.3	+8.0	3,309	6.0	+18.5	3,955	6.5	△14.1	
営業外収益	553	1.0	+6.2	584	1.1	+2.1	556	1.0	△3.5	556	0.9	△6.8	
営業外費用	498	0.9	+4.8	502	0.9	+1.1	489	0.9	△1.9	509	0.8	△1.5	
経常利益	3,677	6.6	△5.7	3,443	6.4	+8.0	3,376	6.1	+17.7	4,001	6.6	△14.5	
特別利益	0	0.0	-	14	0.0	-	0	0.0	-	0	0.0	-	
特別損失	0	0.0	-	0	0.0	-	38	0.1	-	0	0.0	-	
当期純利益	2,515	4.5	△4.7	2,316	4.3	+8.3	2,253	4.1	+15.7	2,664	4.4	△11.1	
P	B	11,202	20.1	+4.4	11,028	20.5	+1.7	11,440	20.6	+5.8	11,728	19.4	+4.7

## ■令和元年(2019)12月期【累計】

単位:百万円、%

	第1四半期(△1日)			第2四半期(△4日)			第3四半期(△4日)			通期(△5日)			
	実績	構成比	前年同期比	実績	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年同期比	予算	構成比	前年比	
売上高	55,682	100.0	+5.2	109,396	100.0	+4.3	164,996	100.0	+5.2	225,600	100.0	+5.3	
売上総利益	11,931	21.4	+5.4	23,622	21.6	+4.0	35,288	21.4	+6.0	47,950	21.3	+5.4	
販売費及び一般管理費	8,308	14.9	+11.2	16,637	15.2	+5.6	24,993	15.1	+6.3	33,700	14.9	+8.3	
営業利益	3,622	6.5	△6.0	6,984	6.4	+0.2	10,294	6.2	+5.5	14,250	6.3	△0.8	
営業外収支	553	1.0	+6.2	1,137	1.0	+4.0	1,693	1.0	+1.4	2,250	1.0	△0.7	
営業外費用	498	0.9	+4.8	1,000	0.9	+2.9	1,490	0.9	+1.3	2,000	0.9	+0.6	
経常利益	3,677	6.6	△5.7	7,121	6.5	+0.4	10,498	6.4	+5.4	14,500	6.4	△1.0	
特別利益	0	0.0	-	14	0.0	-	14	0.0	-	14	0.0	-	
特別損失	0	0.0	-	0	0.0	-	38	0.0	+36.2	38	0.0	△87.1	
当期純利益	2,515	4.5	△4.7	4,831	4.4	+1.1	7,085	4.3	+5.4	9,750	4.3	+0.3	
P	B	11,202	20.1	+4.4	22,231	20.3	+3.0	33,671	20.4	+3.9	45,400	20.1	+4.1

# 参考資料⑤－会社データ

## ■社員数【連結】 令和元年(2019)6月末現在 単位:人

役員	性別		合計	前年同月比
	女	男		
	0	12	12	+4
執行役員	0	3	3	△4
キャリア	199	442	641	+30
エリア	253	315	568	△12
サポート	28	4	32	+3
スペシャリスト	16	16	32	△1
ロジス	80	266	346	+9
契約社員	1	28	29	+3
現地法人	21	19	40	+4
健康保険組合出向者	1	1	2	+2
中山財団出向者	0	1	1	+0
社員計	599	1,095	1,694	+34
パート	839	280	1,119	+10
従業員計	1,438	1,387	2,825	+48

女性社員比率35.3%/女性セールス83人/

女性キャリア比率33.2%(男性40.3%) ※パートタイマーの人数は実際の雇用人数

## ■入社者数および退職者数 ※パートタイマー除く 単位:人、%

	平成27年(2015)		平成28年(2016)		平成29年(2017)		平成30年(2018)		令和元年(2019)6月末	
	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男
社員数	404	945	512	959	510	1,004	557	1,051	598	1,094
	1,349		1,471		1,514		1,608		1,692	
入社者	38	56	70	33	59	67	63	72	51	55
	94		103		126		135		106	
退職者	8	24	20	18	18	18	20	26	27	20
	32		38		36		46		47	
離職率	1.9	2.5	3.8	1.8	3.4	1.8	3.5	2.4	4.3	1.8
	2.3		2.5		2.3		2.8		2.7	

## ■倒産による回収不能金額 単位:万円

	平成26年(2014)12月期	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)
回収不能金額(万円)	0	0	35	0	4

## ■平均年齢・年収【親単体】 単位:歳、万円

	平均年齢			平均年収		
	女	男	全体	キャリア	エリア	全体
平成30年(2018)	30.9	42.1	38.2	804	680	701
平成29年(2017)	30.7	42.7	38.6	805	696	715
平成28年(2016)	30.6	43.5	39.3	757	651	674
平成27年(2015)	30.9	43.3	39.6	727	630	660
平成26年(2014)	30.5	43.1	39.4	716	612	641

※全体平均年収は執行役員を含み、退職金「ファイナンシャルボンド」を除く金額  
 ※平成26年度より業績連動型賞与を支給開始。

## ■拠点数【連結】 令和元年(2019)6月末現在

本社	2か所
支店	73か所
物流センター	22か所
海外拠点	3か所
合計	100か所

## ■在庫廃棄金額及び在庫金額の推移

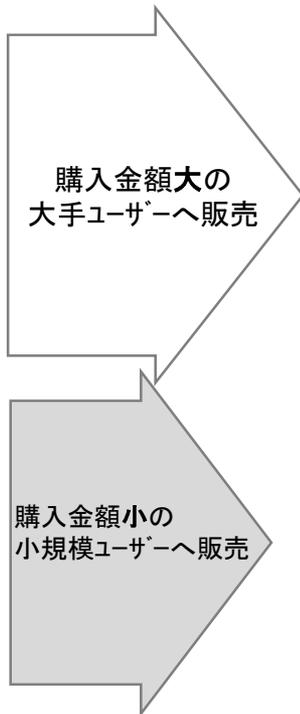
	平成26年(2014)	平成27年(2015)	平成28年(2016)	平成29年(2017)	平成30年(2018)
廃棄金額(百万円)	27	50	32	41	39
在庫金額(億円)	217	250	290	318	370
廃棄率(%)	0.12	0.20	0.11	0.13	0.11

# 参考資料⑥ーユーザー別販売ルート

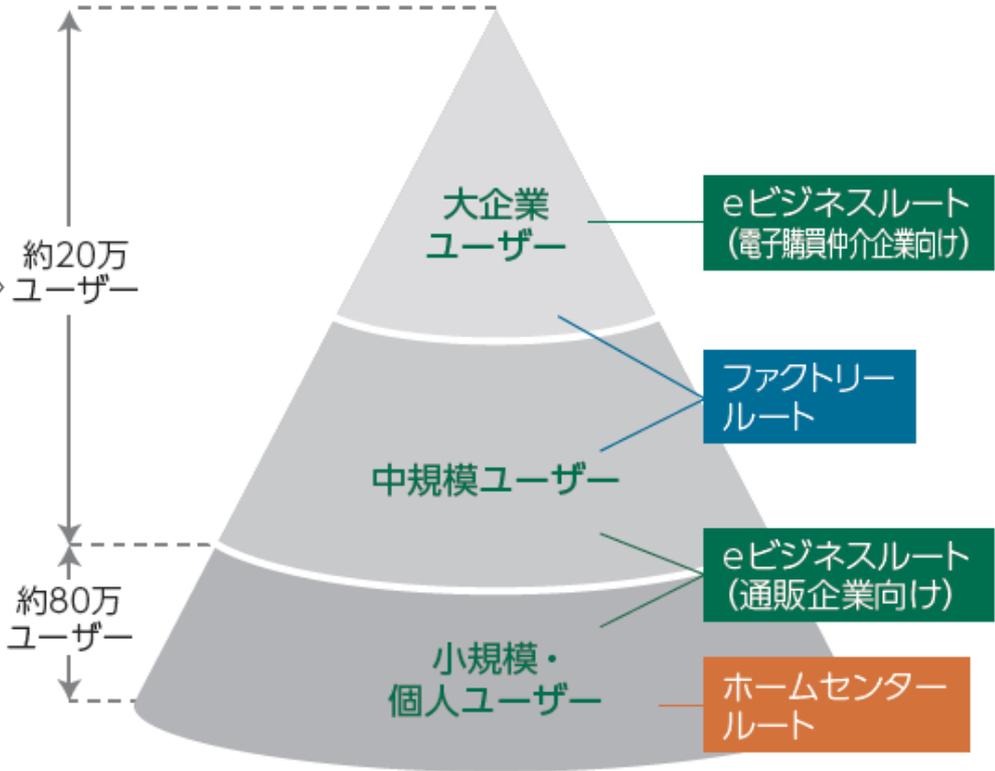
## ユーザー別販売ルート

※MROサプライとは電子購買向けの売上高のことです。  
 ※各販売ルートの売上高は当社平成30年度(2018)売上高を  
 ルート別に分けた金額です。

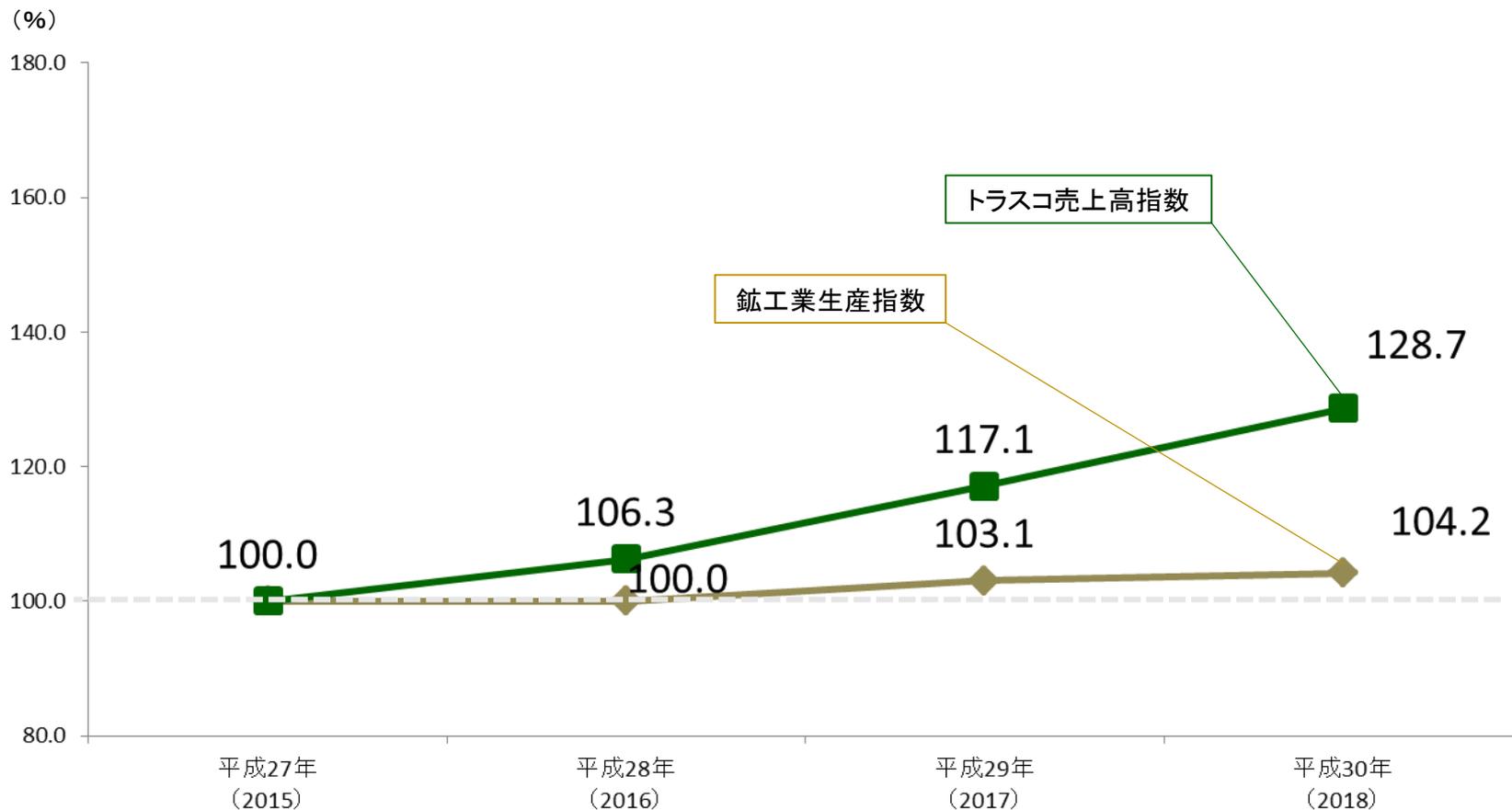
販売ルート	当社 売上高※
eビジネスルート (電子購買 仲介企業向け)	72億円 ➡
ファクトリールート	1,691億円 ➡
eビジネスルート (通販企業向け)	234億円 ⬆
ホームセンター (零細・個人)	134億円 ➡



### ●対応するユーザーイメージ



■当社売上高指数及び鉱工業生産指数の推移



※指数基準:平成27年(2015)を100とする

※鉱工業生産指数は平成31年(2019)2月15日に経済産業省より公表された数値

# 参考資料⑧ー第57期 第2四半期トピックス

## 4/1 トラスコ中山 健康保険組合 設立



写真左より、ヘルスケア課天川(看護師)、牧野、社長 中山、中村、玉井事務長

厚生労働省から正式に認可をいただき、4月より運営開始となりました。当社独自の保険事業をさらに充実化させ、社員が長く安心して働けるよう、今後も当社に合った取り組みの充実化を図ります。

## 5/30、31 株主様向けトラスコ東京本社見学会

今年で5年目を迎えた見学会は役員、社員との交流や当社の社風を感じ、より深く当社を知っていただきたいという想いで見学会を開催しています。毎年フロアごとに工夫を凝らした部署紹介をしております。



11階カフェテリアでの集合写真



## 5/7 第7回カーボンニュートラル賞 受賞

一般財団法人建築設備技術者協会主催の同賞で、当社 富士支店・大分支店の社屋が環境に配慮した建物として受賞しました。



大分支店(大分市)



富士支店(静岡県富士市)

## 6/3 トラスコ AIオレンジ レスキュー スマホ版リリース



2月に公開された対話型検索ツール「トラスコ AI オレンジ レスキュー」がスマートフォンで使用できるようになりました。テキストを入力することなく、スマホに話しかけて商品を検索できる大変便利な業界初のツールです。

